

公立大学法人

# 長野大学

地域連携の取り組み

発信元：長野大学地域づくり総合センター  
〒386-1298

長野県上田市下之郷658-1

TEL:0268-39-0007

FAX:0268-39-0006

2026(令和8)年1月15日

## “ウェルビーイング”をテーマにした 地域公開の教育シンポジウムが開催されます

長野大学社会福祉学部の中坂教授が実行委員長を務める教育に関する地域公開シンポジウムが長野大学リブロホールを会場に開催されます。激変の社会において学校教育に求められる教育の役割もまた大きな過渡期にあります。これからの学校教育は、これまでのように学校の中だけで完結するものではなく、学校内外の人が連携・協働することを通じて、子どもたちは多様な価値観にもまれながら、それぞれのテーマを主体的に探究する教育へとその形を大きく変えようとしています。多様な他者とのつながりの中で【個人と社会のウェルビーイングの実現】を目指す長野県の「地域とともにある学校づくり」について、地域・学校・行政・企業等々の皆さんと一緒に考えるシンポジウムです。ぜひご取材ください。よろしくお願いいたします。

### ・ コミュニティスクールシンポジウム@長野大学ーCS決戦山口VS長野ー

○日 時：2026年1月20日(火)16時～20時

○主 催：CSシンポジウム@長野大学実行委員会

○共 催：長野県教育委員会，後援：長野県PTA連合会

○場 所：長野大学リブロホール（駐車場有）

#### 【タイムテーブル】

○15：30-17：00 受付

○16：00-16：50 プレ・シンポジウム・  
ワークショップ

○17：00-17：10 開会行事

○17：10-17：25 趣旨説明

○17：30-18：30 基調講演

○18：35-19：15 パネルディスカッション

○19：15-19：55 意見交換

○19：55-20：00 閉会行事

#### 【登壇者】

○趣旨説明：早坂淳（CSシンポジウム@長野大学 実行委員長，長野県コミュニティスクールアドバイザー，長野大学社会福祉学部・教授）

○基調講演：山口有紗さん（こども家庭庁・アドバイザー）

○パネルディスカッション：小西哲也さん（文部科学省CS推進名誉マイスター，下関市立大学 経済学部 公共マネジメント学科 教養教職機構 特命教授），伴美佐子さん（上田市立北小学校・地域コーディネーター），春原美佐子さん（東御市立北御牧小学校・校長），山口有紗さん（同上）

○意見交換：城村義人さん（長野県PTA連合会・会長），矢沢奈穂美さん（上田市中心公民館・社会教育指導員），前川浩一さん（文科省CSマイスター，大田市立美麻小中学校地域協働コーディネーター）

○ファシリテーター：早坂淳（同上）

ウェルビーイング と コミュニティ・スクール

# コミュニティ・スクール シンポジウム@長野大学

日時

2026年

1月20日 火

16:00-20:00

会場

長野大学リブロホール  
オンライン視聴も可能です

参加

無 料：要申込

申込〆切：1/19（月）

講演

子どもたちのことは、わたしたちのこと  
「象徴としての子ども」とウェルビーイング



山口 有紗 さん

小児科専門医  
子どものこころ専門医

お申込みは申込フォーム、Eメール、FAXにて

○ Eメール：hayasaka@nagano.ac.jp

○ F A X：0268-39-0098

【宛 先】CSシンポジウム@長野大学実行委員長：早坂 淳



<https://forms.gle/8K3sMkrcao99nZGn6>

主催：CSシンポジウム@長野大学実行委員会

共催：長野県教育委員会

後援：長野県PTA連合会



# 2025コミュニティ・スクールシンポジウム@長野大学

## ウェルビーイングとコミュニティ・スクール

近年いろいろな場面で目にしたり耳にしたりする「ウェルビーイング」。独り歩きを始めた感のあるこの「ウェルビーイング」をいま私たちが自分の言葉で語れるようになることが重要です。本シンポジウムの出発点はここにあります。このシンポジウムでは参加する皆さんがそれぞれ自分なりの「ウェルビーイング」のイメージをもち、それを自分の言葉で語れるようになることをねらいにして、下記の通り魅力的なシンポジストの皆さんによる多様な企画を展開いたします。

プレ・シンポジウム・ワークショップは、コミュニティ・スクールや、子どものウェルビーイングを充実させる活動に従事している方々の「わくわく」や「もやもや」を見える化していく出入り自由の企画です（現地参加のみ、オンライン非対応）。「子どものことは、わたしたちのこと」と題した講演では「子どものウェルビーイング」の第一人者からいま私たちがおさえるべきポイントを学びます。パネルディスカッションでは、「ウェルビーイング」にコミュニティ・スクールをかけ合わせて、「こどもまんなか」にした活動の最前線にいる方々が、文科省CS推進名誉マイスターに「ウェルビーイング」を掛け声にぶつかっていきます。

皆さんお誘いあわせの上、シンポジウムにおいでください。私たちそれぞれの「ウェルビーイング」を手にししましょう。

## タイムテーブル

16:00		17:00 17:10 17:25			18:25 18:30		19:30		19:55	
受付開始	プレ シンポジウム ワークショップ *現地参加のみ	開 会 行 事	趣 旨 説 明	講 演	休 憩	パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	質 疑	閉 会 行 事		

## シンポジスト

<div>矢沢 奈穂美 さん</div>  <div>上田市中央公民館 社会教育指導員</div>	<div>城村 義人 さん</div>  <div>長野県PTA連合会・会長 駒ヶ根高原教会・牧師</div>	<div>前川 浩一 さん</div>  <div>文部科学省・CSマイスター 美麻小中学校コーディネーター</div>	<div>山口 有紗 さん</div>  <div>小児科専門医 子どものこころ専門医</div>
<div>小西 哲也 さん</div>  <div>文科省CS推進名誉マイスター 下関市立大学・特命教授</div>	<div>伴 美佐子 さん</div>  <div>長野県教育委員 上田市立北小学校コーディネーター</div>	<div>春原 美佐子 さん</div>  <div>東御市立北御牧小学校・校長</div>	<div>早坂 淳 さん</div>  <div>長野大学社会福祉学部・教授 長野県CSアドバイザー</div>

# コミュニティ・スクール シンポジウム - ウェルビーイングとコミュニティ・スクール - 開催要項

## C Sシンポジウム@長野大学実行委員会

1 趣 旨 令和 6 年度の長野県コミュニティスクール検討会での 5 回にわたる議論がまとまり、それぞれの学校、地域で学校支援等の取組が行われている中、これを連携、そして協働の段階に発展させていくことを目指し、第 1 回 C Sシンポジウムを開催した。今年度さらに充実した取組を進めるための機会とする。

2 主 催 C Sシンポジウム@長野大学実行委員会

3 共 催 長野県教育委員会

4 期 日 令和 8 年 1 月 20 日（火） 16:00～20:00

5 会 場 公立大学法人 長野大学 リブロホール  
〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

5 開催方法 参集での参加およびオンラインで配信にて行います（参加無料、申込必要）

### 6 日 程

16:00	17:00	17:10	17:25	18:25	18:30	19:30	20:00
受付	プレシンポジウム ワークショップ	開会行事	趣旨説明	講演	休憩	パネル ディスカッション	質疑・閉会 感想記入

### 7 内 容

#### (1) 趣旨説明

長野県 C S アドバイザー，長野大学社会福祉学部・教授 早坂 淳 さん

#### (2) 講演 「子どもたちのことは、わたしたちのこと - 「象徴としての子ども」とウェルビーイング-」

講師：山口有紗さん（小児科専門医、子どものこころ専門医）

#### (3) パネルディスカッション

登壇者： 文部科学省 C S 推進名誉マイスター，下関市立大学経済学部・特命教授 小西 哲也 さん  
長野県教育委員，上田市立北小学校・地域コーディネーター 伴 美佐子 さん  
北佐久郡北御牧小学校 校長 春原 美佐子 さん，山口 有紗 さん  
ファシリテーター：長野県 C S アドバイザー，長野大学社会福祉学部・教授 早坂 淳 さん

8 参加対象者 地域コーディネーター・学校職員、市町村教育委員会、コミュニティスクール担当者  
生涯学習課担当者、各地区社会福祉協議会、地域で子どもを育てる取組に関わっている  
方、これからの地域と学校の在り方について関心のある方

9 持ち物 筆記用具

10 参加申込 1 月 19 日（月）までに FAX、メール、フォーム（QR コード）にて送付してください。

#### （問合せ先）

担 当 長野大学 早坂 淳  
電 話 0268-39-0001  
FAX 0265-39-0098  
メー ル [hayasaka@nagano.ac.jp](mailto:hayasaka@nagano.ac.jp)  
フォー ム <https://forms.gle/8K3sMkrcao99pZGn6>

